

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ

自治体職員の可能性を広げる学びの場 ～ニューヨークへの挑戦と熊本での実践～



熊本市政策局総合政策部国際課 安浪 真

2019年12月、庁内公募に新たに追加された「クレアニューヨーク事務所」。まさか自分が手を挙げることになるとは夢にも思っていませんでした。

国際業務への初めての挑戦

当時、熊本市の東京事務所に勤務していた私は、所長から「東京で培った市長のトップセールス支援や人的ネットワーク構築を海外でも展開してほしい」と、クレアへの応募を推薦されました。英語も国際業務も未経験でしたが、そのミッションにやりがいを感じ、また、家族の後押しもあり応募を決意。幸運にも選ばれました。

1年目の東京本部では、交流親善課に配属されました。コロナ禍で交流事業が中止となる中、オンライン交流などを行った自治体の事例を調査し、機関誌で特集を担当しました。調査を通じて、自治体の国際交流の取り組みを知ることで、国際業務を学ぶ良い機会となりました。

いざ、家族と共にニューヨークへ

新型コロナウイルス感染症の影響によりビザの取得が危ぶまれましたが、無事2021年4月から家族（妻・長男（7歳）・長女（2歳））と共にニューヨークへ赴任しました。治安や長男の学校など不安は色々ありましたが、クレアが紹介してくれた日系不動産の担当者のサポートもあり、何とか新生活をスタートすることができました。また、家族と赴任したことで、地域や学校のコミュニティ活動に参加できたことは、多文化共生の重要性を肌で実感する貴重な経験でした。

ニューヨーク事務所では、イベント運営や自治体の海外活動支援、出納業務などを担当させていただきましたが、海外での業務を通じて、日本との違いを多く学ぶことができました。

特に印象に残っていることとしては、1つはアニメ NYC でアニメ聖地巡礼を PR した結果、それがきっかけで

地方周遊をメインに日本を訪れてくれたお客様がいたことです。アメリカの若者層は日本のポップカルチャーへの関心が高く、地方誘客コンテンツとしての可能性を強く感じました。



アニメ NYC での PR

もう1つは、国連水会議 2023 で熊本市長が登壇し、そのアテンド対応を行ったことです。現地メディアへの露出や日系機関への訪問を組み合わせることで、効果的なトップセールスにつながり、クレア派遣のミッションを達成できたという充実感がありました。



国連水会議 2023

熊本の国際化の最前線へ（帰任後）

帰任後は国際課に配属され、海外との交流や多文化共生の事業に携わっています。半導体関連企業の進出により、熊本の国際化はこれまで以上に進んでおり、海外出張や地域交流の促進、特命事項など多岐にわたる業務に奔走する日々です。国際業務の経験を持つ職員は限られており、対応が難しい場面も少なくありませんが、クレアで培った実践的な知識やネットワークが現場で活きていると実感しています。

今後は、クレアでの経験をより多くの職員に共有しながら組織全体の底上げに貢献し、熊本の国際化を地域に根ざした形で着実に進めていきたいと考えています。

プロフィール・ほか

- クレア在籍時の所属
2020年4月～2021年3月 交流支援部交流親善課
2021年4月～2023年3月 ニューヨーク事務所